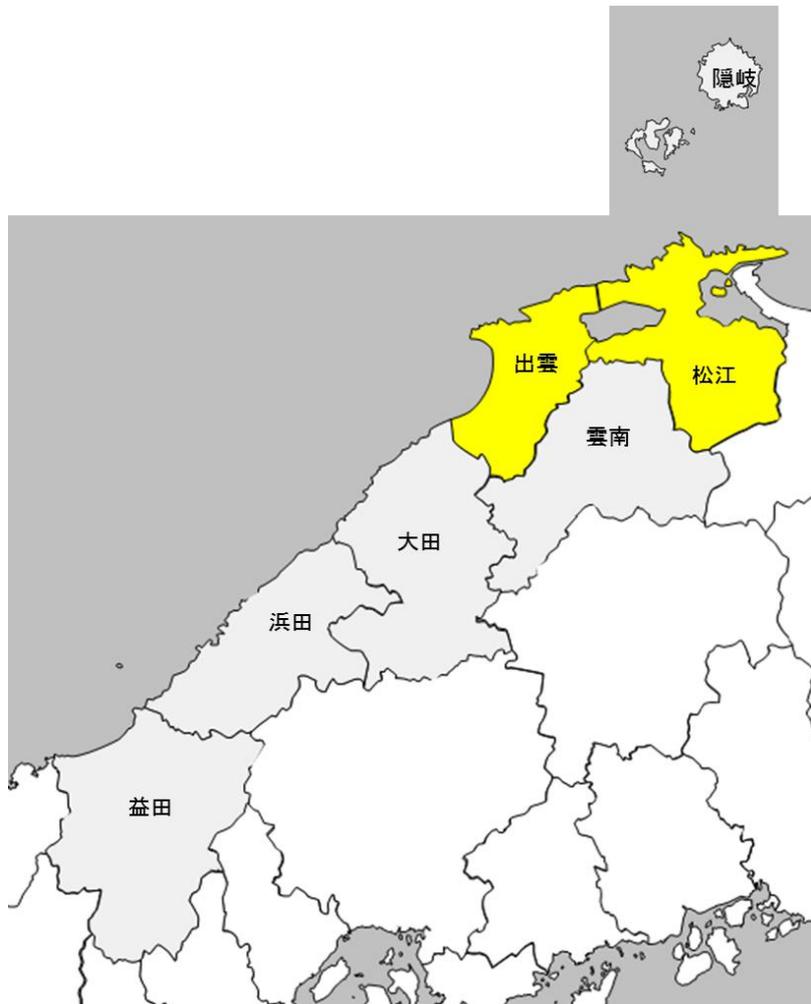


# 32. 島根県



## 3 2 島根県

## A. 医療提供体制の現状

島根県は、人口が72万人（46位）と少ないが、面積が6,708 km<sup>2</sup>（19位）と広く、北海道、岩手県、秋田県について日本で4番目に人口密度が低い。島根県の特徴は、（1）量が多いが、生かし切れていない医療資源、（2）北東から南西に向けて長く広がり、北東部と南西部の医療格差が大きい、である。

## （1）人口当たりの量が多いが、生かし切れていない医療資源

県全体の偏差値は、病床数（58）、一般病床数（59）、病院勤務医数（56）、看護師数（57）と高く、人口当たりの病床やスタッフ数が多いが、全身麻酔数（48）と、全国平均を少し下回っている。ただし鳥取県同様、島根県では、医療資源が多いが、診療科の偏在や、必要などころに必要な人員が配置されないなどのミスマッチにより、数の割に、主要病院の主要診療科に欠員がみられるなどの問題が発生し、豊富な医療資源を医療の質の向上に生かし切れていない状況にある。

## （2）北東から南西に向けて長く広がり、北東部と南西部の医療格差が大きい

北部の松江に人口の35%、出雲に24%とこの地域に人口の6割が集中しているが、この2地域に病院勤務医の77%が、全身麻酔の85%が集中している。一方、他の医療圏の病院勤務医の偏差値は、雲南（37）、大田（38）、隠岐（42：総病院勤務医数18人）と、急性期医療を維持できないレベルである。浜田と益田は、医療資源の充実した県の東北部から距離があるため、独立した医療圏を形成してきたが、近年産科を中心に急性期医療の継続が難しくなってきた地域として注目されている。

## B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

## （松江）

島根県の県庁所在地である松江の偏差値は、一般病床が（63）、病院勤務医（52）、全身麻酔数（50）、看護師数（59）と、地方都市としては高レベルの医療提供体制である。2010→35年の医療の総需要が1%増、0-64歳が28%減、75歳以上が35%増であり、今後この地域及び島根県全体での急性期医療提供体制の過剰感が強まることが予想される。まず、急性期病床の一部を、後期高齢者に対応する病棟に転換する必要がある。更に、急性期病床のダウンサイジングなどが実施されることが望ましい。

**(雲南、大田)**

この2地域は、日本で最も高齢化が進んだ地域の一つである。一般病床数が(48)と(49)、病院勤務医が(37)と(38)、全身麻酔数(32)と(32)、総看護師数(45)と(43)と医療資源が全般的に少なく、雲南は松江と出雲への、大田は出雲と浜田への依存度が高い。2010→35年の0-64歳の医療需要が38%減、41%減、75歳以上の医療需要が1%増、9%減することを考えると、地域内の医療機関の集約と地域内ネットワークの強化が必要があるだろう。また出雲からの支援の強化や、松江、出雲、浜田との連携の強化することにより医療機能を維持することが求められる。

**(出雲)**

島根大学と県立中央病院のある出雲は、島根県の医療提供の中心地である。一般病床が(63)、病院勤務医(84)、全身麻酔数(62)、看護師数(64)と、高レベルの医療提供体制である。2010→35年の島根県全体の総医療需要が9%減、出雲の総医療需要が0%、0-64歳の医療需要が25%減を考えると、急性期医療の提供能力の過剰感が今後急速に強まっていく。まず島根県の医療提供体制と関連の深い鳥取大学と協力しながら、島根県の豊富な医療資源が適正配置されるよう島根県全体の医療資源マネジメント体制の早急な確立を目指すべきである。また人口減少に向けて、医師養成数の適正化や出雲で働く医師が医師不足地域での勤務を促す誘導策、高機能病床のダウンサイジングを検討する必要がある。

**(浜田、益田)**

島根県の南部に広がる2つの医療圏は、一般病床数が(56)と(63)、病院勤務医が(49)と(46)、全身麻酔数(41)と(48)、総看護師数(58)と(61)と、地方としては医療資源レベルが高い一方、近年産科を中心に急性期医療の継続が難しくなってきた地域として注目されている。これらの地域は、広島県への医療依存が強い。2010→35年の医療の総需要が19%減と20%減、0-64歳が37%減と44%減、75歳以上が2%減と2%増であり、地域内の医療機関の集約と地域内ネットワークの強化が必要があるだろう。また松江や出雲からの支援の強化や連携の強化も検討する必要があるだろう。

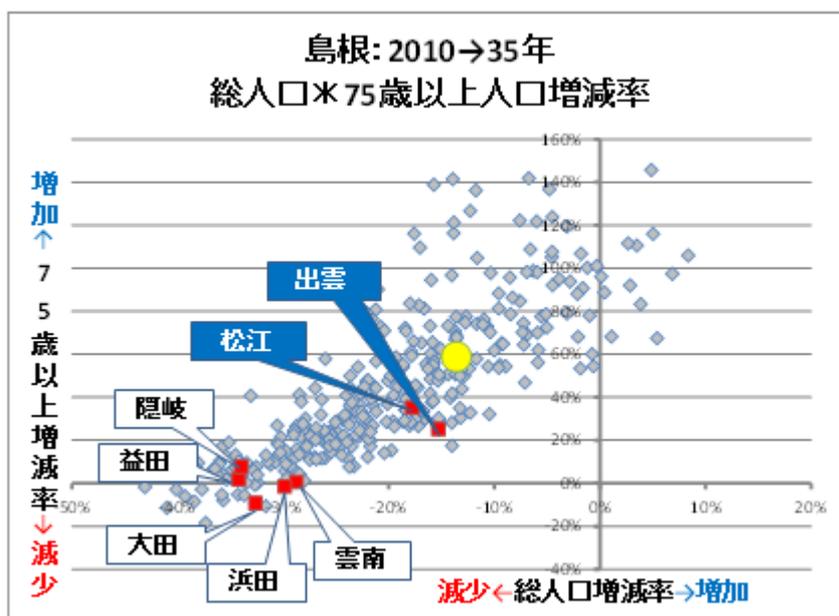
**(隠岐)**

日本海に浮かぶ隠岐は、一般病床が(45)、病院勤務医(42)、全身麻酔数(32)、看護師数(46)であり、地域内の2病院で働く勤務医の総数18人、医療資源レベルが低く、急性期医療の実施が困難な状況にある。2010→35年0-64歳の医療需要が46%減、75歳以上の医療需要が8%増を考えると、地域内の2医療機関の病床縮小も含めた存続可能な将来計画の作成、ヘリコプター移送を含めた出雲や松江との連携強化を中心に地域の医療機能を維持することが求められる。

表 32-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口	県内シェア	面積	県内シェア	人口密度	地域タイプ	高齢化率	2010→35年総人口増減率	2010→35年75歳以上人口増減率
全国	128,057,352		372,903		343.4		23%	-14%	59%
島根県	717,397	46位	6,708	19位	106.9		29%	-23%	15%
松江	250,449	35%	994	15%	252.0	地方都市型	25%	-18%	35%
雲南	61,907	9%	1,164	17%	53.2	過疎型	34%	-29%	1%
出雲	171,485	24%	624	9%	274.8	地方都市型	26%	-15%	25%
大田	59,206	8%	1,245	19%	47.6	過疎型	37%	-33%	-9%
浜田	87,410	12%	958	14%	91.2	過疎型	31%	-30%	-2%
益田	65,252	9%	1,377	21%	47.4	過疎型	33%	-34%	2%
隠岐	21,688	3%	346	5%	62.6	過疎型	36%	-34%	8%

図 32-1 総人口と75歳以上人口の増減率（2010年→35年）



高橋泰、(株)ウェルネス、「二次医療圏データベース 集計集」 2012

(A. 「医療提供体制の現状」、表32-1、表32-2、表32-5、図32-4)

厚生労働省「医療計画の見直しに関する都道府県説明会資料」H.24.3

(図32-5)

表 32-2 総病床数、一般病床数、総高齢者ベッド数

二次医療圏	総病床数				一般病床数(再掲)				総高齢者ベッド数			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	一般病床数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総高齢者ベッド数	県内シェア	75歳1000人当り	偏差値
全国	1,672,549		1,306	504	915,096		715	244	1,344,835		96	20.5
島根県	12,235	0.7%	1,705	58	6,741	0.7%	940	59	11,651	0.9%	98	51
松江	4,505	37%	1,799	60	2,608	39%	1,041	63	3,519	30%	103	54
雲南	786	6%	1,270	49	408	6%	659	48	976	8%	74	39
出雲	3,014	25%	1,758	59	1,773	26%	1,034	63	2,446	21%	98	51
大田	832	7%	1,405	52	405	6%	684	49	1,422	12%	103	54
浜田	1,567	13%	1,793	60	751	11%	859	56	1,587	14%	102	53
益田	1,337	11%	2,049	65	666	10%	1,021	63	1,073	9%	86	45
隠岐	194	2%	895	42	130	2%	599	45	628	5%	136	70

※偏差値の「全国」については標準偏差を示している。以下同様。

図 32-2 病床数(人口10万当たり)、総高齢者ベッド数(75歳以上1,000人当たり)

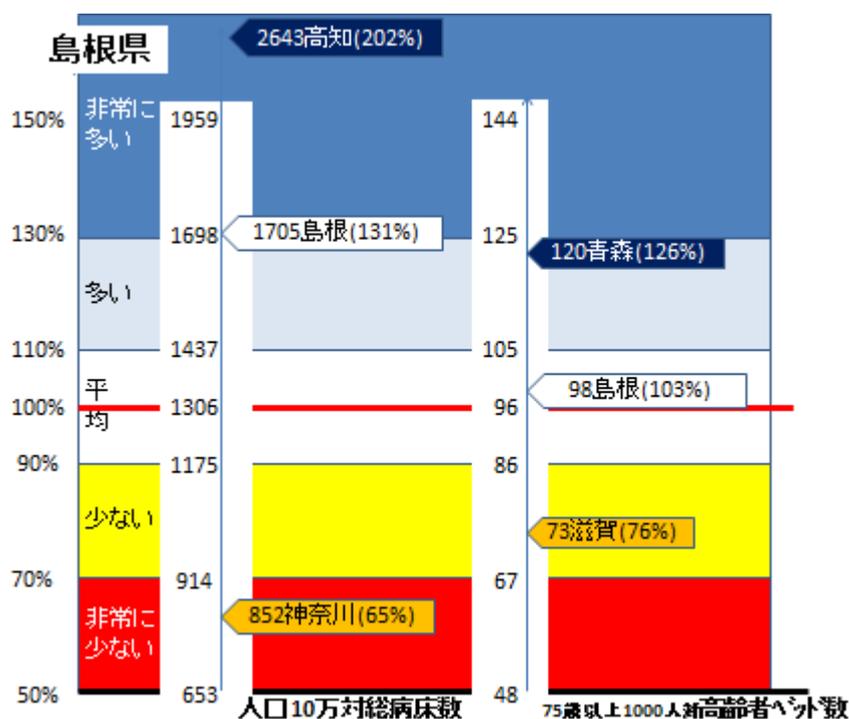


表 32-3 療養病床数、回復期病床数、精神病床数

二次医療圏	療養病床数				回復期病床数				精神病床数			
	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	333,717		261	208	61,697		48.2	44	349,345		273	211
島根県	2,464	0.7%	343	54	420	0.7%	59	52	2,492	0.7%	347	54
松江	692	28%	276	51	158	38%	63	53	963	39%	385	55
雲南	194	8%	313	53	30	7%	48	50	150	6%	242	49
出雲	585	24%	341	54	156	37%	91	60	488	20%	285	51
大田	255	10%	431	58		0%	0	39	168	7%	284	51
浜田	314	13%	359	55	32	8%	37	47	470	19%	538	63
益田	400	16%	613	67	44	10%	67	54	215	9%	329	53
隠岐	24	1%	111	43		0%	0	39	38	2%	175	45

表 32-4 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、療法士数

二次医療圏	救命救急センター				がん診療拠点病院				療法士数			
	救命救急センター	県内シェア	人口100万当り	偏差値	がん診療拠点病院	県内シェア	人口100万当り	偏差値	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	203		1.59	2.43	377		2.94	3.5	87,999		68.7	38
島根県	3	1.5%	4.2	61	5	1.3%	7.0	61	665	0.8%	93	56
松江	1	33%	4.0	60	2	40%	8.0	64	302	45%	120	64
雲南	0	0%	0	43	0	0%	0	42	33	5%	53	46
出雲	1	33%	5.8	68	2	40%	11.7	75	157	24%	92	56
大田	0	0%	0	43	0	0%	0	42	29	4%	49	45
浜田	1	33%	11.4	91	1	20%	11.4	74	76	11%	87	55
益田	0	0%	0	43	0	0%	0	42	61	9%	93	56
隠岐	0	0%	0	43	0	0%	0	42	8	1%	37	42

表 32-5 病院勤務医数、総看護師数、DPC病院での全身麻酔件数

二次医療圏	病院勤務医数				総看護師数				全身麻酔件数			
	病院勤務医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	157,166		123	53	843,730		659	222	1,790,784		1,398	795
島根県	1,104	0.7%	154	56	5,910	0.7%	824	57	8,958	0.5%	1,249	48
松江	329	30%	131	52	2,174	37%	868	59	3,450	39%	1,378	50
雲南	32	3%	52	37	341	6%	550	45	0	0%	0	32
出雲	522	47%	304	84	1,661	28%	969	64	4,090	46%	2,385	62
大田	36	3%	61	38	295	5%	498	43	0	0%	0	32
浜田	101	9%	116	49	726	12%	831	58	590	7%	675	41
益田	66	6%	101	46	592	10%	907	61	828	9%	1,269	48
隠岐	18	2%	83	42	122	2%	560	46	0	0%	0	32

図 32-3 病院勤務医数（人口 10 万人当たり）

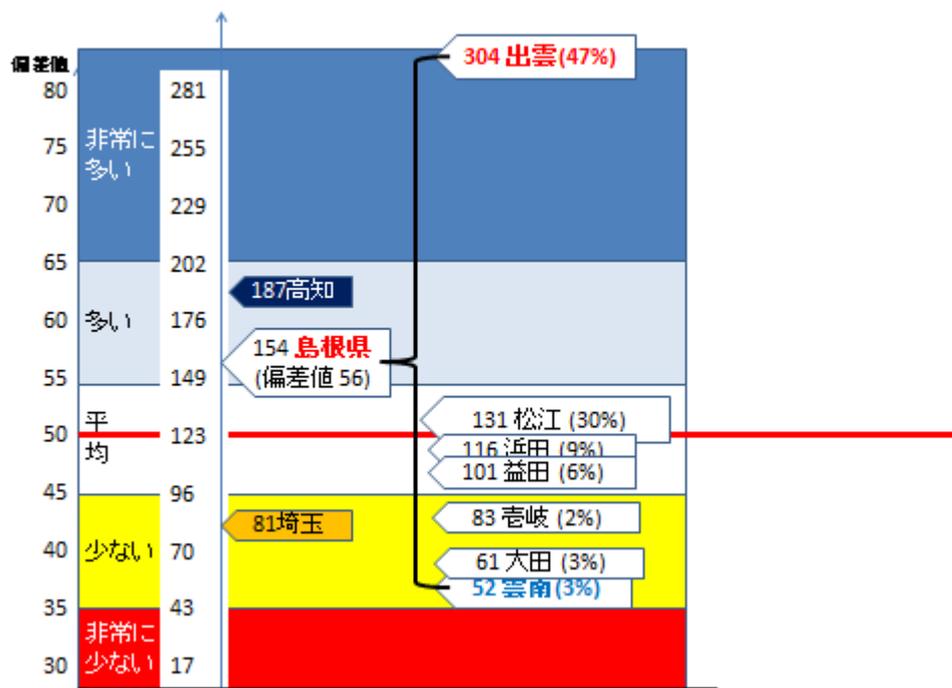


図 32-4 医療圏別基幹病院別全身麻酔手術数

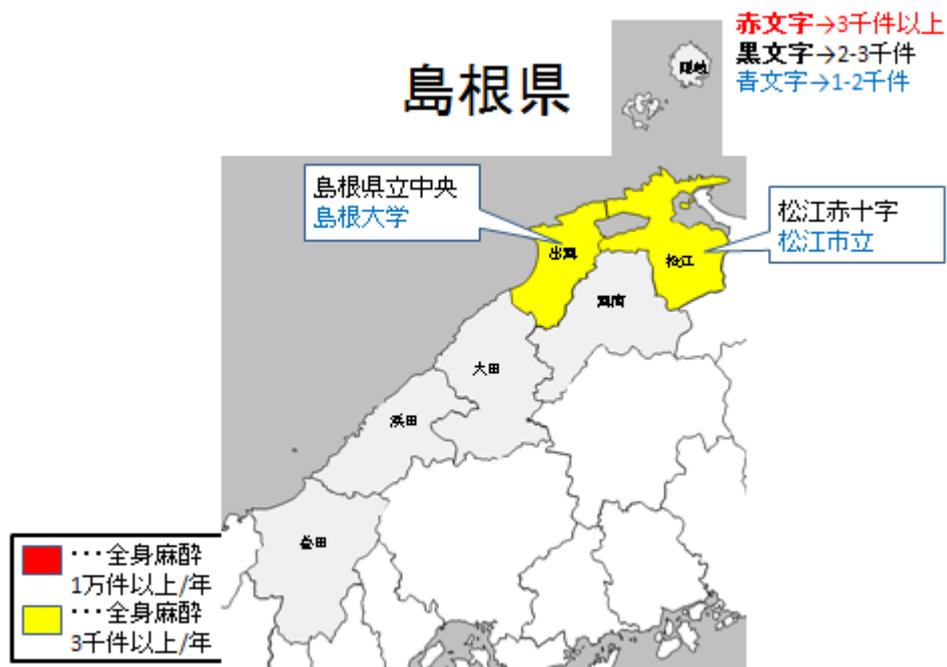


図 32-5 二次医療圏（流入出）

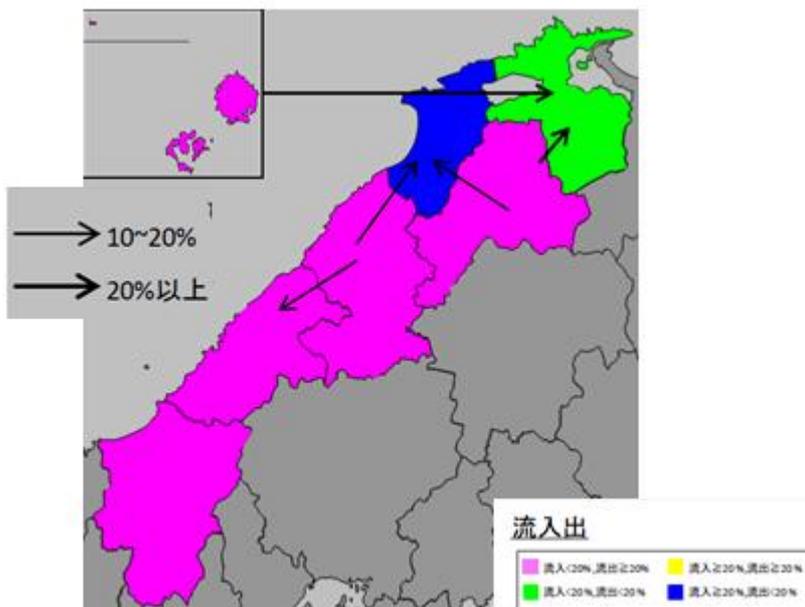


表 32-6 介護保険施設ベッド数と高齢者施設収容数

二次医療圏	介護保険施設 ベッド数	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	老人保健 施設収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	特別養護 老人ホーム 収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	704,693		50	11.6	308,426		22	5.6	396,267		28	10.1
島根県	6,300	0.9%	53	53	2,105	0.7%	18	43	4,195	1.1%	35	57
松江	1,755	28%	52	51	580	28%	17	41	1,175	28%	35	56
雲南	656	10%	50	50	156	7%	12	32	500	12%	38	60
出雲	1,410	22%	56	55	600	29%	24	54	810	19%	32	54
大田	830	13%	60	59	230	11%	17	41	600	14%	44	65
浜田	790	13%	51	50	320	15%	21	48	470	11%	30	52
益田	519	8%	41	42	149	7%	12	32	370	9%	30	51
隠岐	340	5%	74	70	70	3%	15	38	270	6%	58	80

表 32-7 高齢者住宅数（高齢者住宅、有料老人ホーム、グループホーム）

二次医療圏	高齢者住宅数合計	全国	75歳	偏差値	有料老人ホーム計	全国	75歳	偏差値	グループホーム	全国	75歳	偏差値
		シェア	1,000人当り			シェア	1,000人当り			シェア	1,000人当り	
全国	640,142		45	18.1	235,778		16.8	10.9	157,413		11.2	6.0
島根県	5,351	0.8%	45	50	1,207	0.5%	10.2	44	1,471	0.9%	12.4	52
松江	1,764	33%	52	53	445	37%	13.1	47	473	32%	13.9	55
雲南	320	6%	24	38	52	4%	3.9	38	60	4%	4.5	39
出雲	1,036	19%	41	48	309	26%	12.4	46	411	28%	16.4	59
大田	592	11%	43	49	89	7%	6.5	41	166	11%	12.1	51
浜田	797	15%	51	53	173	14%	11.1	45	149	10%	9.6	47
益田	554	10%	44	49	83	7%	6.6	41	140	10%	11.2	50
隠岐	288	5%	62	59	56	5%	12.1	46	72	5%	15.6	57

表 32-8 2010年→35年の介護・医療の需要予測

二次医療圏	地域区分	2010→35	2010→35	65-74歳	0-74歳	75歳以上	2010→35
		総医療需要	0-64歳医療需要	医療需要	医療需要(再計)	医療需要	
全国		9%	-26%	-2%	-17%	59%	50%
島根県		-9%	-32%	-21%	-28%	15%	11%
松江	2	1%	-28%	-11%	-22%	35%	29%
雲南	3	-17%	-38%	-33%	-35%	1%	-2%
出雲	2	0%	-25%	-6%	-18%	25%	21%
大田	3	-23%	-41%	-36%	-38%	-9%	-11%
浜田	3	-19%	-37%	-30%	-34%	-2%	-4%
益田	3	-20%	-44%	-38%	-41%	2%	-2%
隠岐	3	-18%	-46%	-43%	-44%	8%	3%

図 32-6 島根県 2010 年→35 年介護医療需要の増減予測

